

≪第5回 日本版 SIB 検討会議≫ SIB セミナー

神戸市「ソーシャル・インパクト・ボンドを活用した糖尿病性腎症等の重症化予防事業」の現状・意義・課題

(招待制/ 定員 20 名 /参加費無料)

■日時: 2018 年 11 月 22 日 (木) 18:30-20:30

■会場: 明治大学駿河台キャンパス グローバルフロント 17 階 C5 会議室

(東京メトロ・JR お茶ノ水駅より徒歩 3 分)

東京都千代田区神田駿台 1-1

https://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/access.html

 ■主催等: 明治大学非営利・公共経営研究所 (INPMS) <http://www.kisc.meiji.ac.jp/~inpms/>

* 文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」(研究代表者 明治大学教授 塚本一郎) の研究助成を受けて開催

 ■協力: 株式会社公共経営・社会戦略研究所 (公社研) <http://koshaken.pmssi.co.jp/>

■演題: 神戸市「ソーシャル・インパクト・ボンドを活用した糖尿病性腎症等の重症化予防事業」の現状・意義・課題

■講師: 神戸市 藤岡健氏 (神戸市企画調整局政策企画部産学連携課長)

神戸市 北尾大輔氏 (神戸市企画調整局政策企画部産学連携課産学連携担当係長)

・コメンテーター: 鈴木太郎氏 (横浜市議員、明治大学特別招聘教授)

・総合司会: 塚本一郎氏 (明治大学経営学部教授、明治大学非営利・公共経営研究所代表)

■議事

・18:00 受付開始

・18:30-19:20 (50 分): 講演

・19:20-19:50: コメント・意見交換

・19:50-20:00: 休憩

・20:00-20:30 フロアーとの質疑・意見交換

■開催の趣旨:

近年、ソーシャルインパクト・ボンド(SIB)は、インパクト投資の一種として、また民間資本活用のアウトカムベースの公共調達(成果連動型契約)モデルとみなされている。すなわち、SIB は社会課題解消と財政支出適正化を両立させる公共サービスの革新的な“Value for Money”(VFM)モデルとして、あるいは社会的セクターの資金調達モデルとして世界的に注目を集めつつある。実際、SIB のマーケットは、2010 年に世界最初の SIB が英国で組成されて以来拡大を続け、現在、20 カ国以上で、少なくとも 100 以上の SIB が実施されている。しかしながら、SIB の成果連動型契約モデルが、従来の業務委託方式等と比較して、効率的かつ有効な成果をもたらしているという十分な証拠は示されていない。また短期的に成果のあがりにくい、あるいは介入が財政削減に直接結び付きにくい社会課題が回避される傾向など、弊害も指摘されてきた。Wellbeing の向上を重視する社会政策的視点からすれば、誤解はあるとはいえ、財政視点を強調する SIB は批判の対象となりやすいのは事実である。一方、日本では、SIB のマーケットは依然として小規模にとどまっておらず、プレイヤーも限定されている。また SIB の官民の担い手やその連携を育成していく視点、EBP (科学的根拠に基づく政策) をベースに仕組みを構築する視点も極めて弱い。一方、国は小規模とはいえ、SIB の組成を財政的に支援する事業を開始している。また、本年、英国のビッグソサエティ・キャピタル (BSC) を参考に休眠預金の受け皿となる社会的投資目的の一般財団 (指定活用団体) の公募なども行っている。

以上の理由から、今回のセミナーでは、国際的にも国内での唯一本格的な SIB とみなされる神戸市の事例をとりあげ、神戸市の担当課の方々をお招きし、ご経験から学ぶとともに「日本版 SIB」の可能性について意見交換を行うことを目的としている。

■問い合わせ先: 公共経営・社会戦略研究所

(明治大学発ベンチャーのシンクタンク)

 Email: info@pmssi.co.jp

*本セミナーは招待制で開催します。お知り合いをご紹介される場合も、上記連絡先にお問合せください。

*公共経営・社会戦略研究所(明大発ベンチャー)は、社会貢献(産学連携)として本セミナーに無償協力します。

